義務教育学校
曽爾小中学校だより

令和５年(２０２３)１０月２日
編集発行責任者　森川　敏和

学校教育目標
『心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもち、ふるさとを大切にする子どもの育成』

高い目標を持ち、まずは日々の目標を・・・

２学期がスタートしてから１ヶ月が過ぎました。今日は「エベレスト理論」という言葉を紹介したいと思います。陸上競技の全国大会などで１３回もチームを優勝させた監督がいます。この方が、次のようなことを言っておられます。

「世界で最も高い山であるエベレストに登ることを目標に決め、準備している人にとっては、日本で一番高い山である富士山に登ることは簡単ですが、富士山を目標に準備している人が、それ以上の高い山に登れることは決してない。」つまり、どこを目指すかを決めた時点で、その後の行動が決まるといいということです。努力をしていても目標をもっていなければ、知らないうちに全国優勝や目標が達成したということは決してありません。優勝する人や目標を達成する人は、目標を達成するイメージを持ち続け努力しているのです。もちろん必死で努力しても、それが実現するとは限りませんが、努力しなければ実現する可能性はゼロです。

この監督の言葉から、高い目標を達成するためには、日々の生活の中で小さな目標を持って過ごすことや、一つの物事をやり続ける忍耐力が大切であると教えてもらったように思います。

皆さんも「どうせ無理だから・・・」と考えずにぜひ、「エベレスト理論」を参考に高い目標を持ち、まずは、日々の目標を大切に過ごしてください。

サマースクール 2023

８月２９日（火）３０日（水）にサマースクールを実施しました。１・２年は『虫とり』、３～６年生は、『曽爾川の水質と生き物を調べよう』『泡は泡でも･･･』『大吉おみくじをつくろう！』７～９年生は、『つかめる水を作ろう』『正多角形の法則を探ろう！』の授業に参加しました。

奈良教育大学の先生や学生さんの工夫を凝らした授業に、子どもたちは興味をもって取り組んでいました。

第4回　体育大会

２学期が始まってから、グランドの状態が悪く練習も十分に出来ませんでした。しかし、体育大会当日は、晴天となり青空の下で体育大会を開催することが出来ました。

大会のテーマ「一致団結」のもと子どもたち全員が全力で各競技に取り組み、思い出に残る体育大会となりました。ご観覧いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。